

3/2023

会報

第 26 号



ハツ場ダム

(一社) 千葉県計量協会計量士部会

会報第26号

目次

部会長の挨拶(年頭の御挨拶)

計量士部会 会長 鶴岡 賢一 . . . 1

千葉県計量検定所所長の挨拶(年頭の御挨拶)

千葉県計量検定所 所長 阿久津 和司 様 . . . 2

(一社)千葉県計量協会長に就任して

(一社)千葉県計量協会 会長 瀬口 力也 . . . 3

受賞の御知らせ

(一社)千葉県計量協会 . . . 4

経済産業省技術環境局長表彰を受賞して

高橋 英明 . . . 4

関東甲信越計量大会表彰を受賞して

鶴見 昭治 . . . 5

計量正確強調月間(検定所だより)

. . . 6

令和4年度研修見学会 JAXA 筑波宇宙センター

青木 茂 . . . 7

趣味の窓

石井 敏博 . . . 9

年間予定

. . . 11

表紙の説明、編集後記

上原 健一 . . . 12

年頭の御挨拶

計量士部会 会長 鶴岡 賢一



令和5年を迎え謹んで新春のお喜びを申し上げます。関係の皆様におかれましては、平素より計量士部会運営に対しまして格別のご理解ご協力を賜り心より厚くお礼申し上げます。

さて、長引くコロナ禍は発生から丸3年が経過し、岸田首相は新型コロナウイルスの感染症法上の分類を原則として今春、現在の「2類相当」から季節性インフルエンザと同じ「5類」へ引き下げる方針を表明したところです。この引き下げにより様々な行動制限が緩和される見込みです。

一方、昨年2月24日ロシアによる、ウクライナ侵攻も収まる様子がありません。これに伴う小麦やエネルギー不足から物価上昇が始まり生活の不安を感じる年明けとなっています。

計量関係では昨年、関東甲信越地区計量関係団体のあり方が見直され、新たな運営方針により10月28日第

一回計量大会が埼玉県で開催されました。この大会で当部会相談役の鶴見昭治氏が、永年の功績が認められ感謝状の贈呈を受けられました。また、11月1日にホテルインターコンチネンタル東京ベイ（東京都港区海岸1-16-2）において開催された、計量記念日全国大会で当部会元理事の高橋英明氏が、計量制度運営等貢献者産業技術環境局長表彰を受賞されました。お二人に対しまして心からお祝い申し上げます。

一方、一般社団法人千葉県計量協会では、第三回計量大会の千葉県開催にあたり「関東甲信越地区計量大会令和6年千葉県開催実行委員会」を設置し、運営方策の検討に入りました。部会員の皆様にも今後何かとお手伝いいただく事となりますのでよろしくご協力の程お願い申し上げます。

計量業界を取り巻く環境は、指定定期検査機関制度や指定検定機関制度の導入、自動はかりの検定開始など大きく変わろうとしています。これらが計量士としての活躍の場の拡大に繋がればと思っております。

終わりに、県計量検定所及び各種計量関係団体の皆様のますますのご発展とご活躍を祈念してごあいさつといたします。

年頭の御挨拶

千葉県計量検定所 所長 阿久津 和司 様



新年明けましておめでとうございます。(一社)千葉県計量協会計量士部会の皆様におかれましては、新春を清々しい気持ちでお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から本県の計量行政の推進に御協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

昨年は、長引く新型コロナウイルスの影響に加え、ロシアによるウクライナ侵攻、更には原油価格・物価高騰等が、私たちの生活に不安を与えた一方で、地元千葉ロッテでは佐々木朗希選手の完全試合達成、サッカーワールドカップでは日本が強豪国を破り決勝トーナメント進出等、若いアスリートの挑戦が、感動と元気をもたらしてくれた一年でした。

今年は、新型コロナウイルスの終息と心穏やかな幸多き年になることを願っております。

本年は、現行の計量法が施行されて30年を迎えますが、計量器の技術

革新や社会的環境の変化など、計量制度を取り巻く状況は、大きく変わってきております。

こうしたなか、国では、技術革新等に対応した規制の見直しにより、「自動はかり」を対象とした検定制度の実施に向けた、新たな仕組み作りを進めています。

これまでに「自動捕捉式はかり」については、検定の対象範囲が明示され、昨年9月末までに4機関が指定検定機関として指定を受けています。また、昨年8月の改正では、「ホップスケール、充填用自動はかり、コンベヤスケール」の使用の制限の開始が令和10年4月に延期される等、「自動はかり」の実態を踏まえながら制度の確立を進めており、今後の状況を見守る必要があります。

計量は、県民生活の安心・安全と県民経済の発展を支える基盤となるものであります。県では、今後とも貴部会と連携を図り、適正な計量の実施を確保してまいりますので、なお一層の御支援・御協力をお願い申し上げます。

結びになりますが、(一社)千葉県計量協会計量士部会の益々の御発展と会員の皆様の御活躍を祈念申し上げまして、新年の挨拶とさせていただきます。

(一社) 千葉県計量協会長に就任して

(一社) 千葉県計量協会 会長 瀬口 力也



(一社) 千葉県計量協会会長の瀬口でございます。

去る令和4年6月21日の(一社)千葉県計量協会総会におきまして、皆様にご推挙いただき、会長に就任することとなりました。歴史と伝統ある団体の会長職を勤めさせていただくことは私にとって大変光栄でございます。

平成22年より12年間の長きにわたり、協会会長として活動された恵藤前会長の後を受け、会員の皆様に意義ある事業運営ができるよう、全力で取り組んでまいります。

さて、目下、計量業界全体の課題として叫ばれているのが、計量士の高齢化に対応した人材育成です。先般の第1回関東甲信越計量大会(於さいたま市)でも、提案議題として取り上げられておりました。昨今では、なかなか新しく計量士を志す方が少ない一方で、自動はかりの検定

を始めとして計量士が期待される役割は増えている印象であり、いかに計量士を確保していくかは、全国各都道府県の計量協会においても急務になっているようです。

恵藤計器では、今年度より従業員に積極的な計量士受験を働きかけており、直近令和4年12月の計量士国家試験においては、社内より6名が受験いたしました。ご存じの通り計量士試験の難度は高く、簡単に合格できるものではありませんが、われわれ「ハカリ屋」が持つべき専門知識を習得する有効な手段として、継続的に計量士への挑戦を推奨していきたいと考えております。

それから、千葉県が開催県である関東甲信越計量大会(千葉県大会)まで、あと2年弱となりました。

今年令和5年は、実行委員会での議論を始めとして、開催に向けた準備が本格化するものと存じます。私個人として、初めて埼玉県大会に参加させていただいた際、「これは協会全体が協力しないと運営できない規模のイベントだ」と痛感いたしました。千葉県での開催にあたっては、計量士部会の皆様にも積極的なご支援とお力添えをいただきたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

受賞の御知らせ

10月28日にさいたま市で開催された関東甲信越計量団体連絡協議会第1回計量大会の席上で、鶴見昭治氏（計量士部会）へ感謝状が授与されました。

11月1日に東京都内で開催された計量記念日全国大会の席上で、計量制度運営等貢献者産業技術環境局長表彰として、高橋英明氏（計量士部会）が受賞され、賞状、記念品を授与されました。

経済産業省産業技術環境局長表彰を受賞して

（一社）千葉県計量協会 計量士部会 高橋 英明



令和4年11月1日の計量記念日に（一社）千葉県計量協会の推薦により計量関係功労者として経済産業省産業技術局長表彰をいただき、誠に身に余る光栄と存じます。私が計量と出会ったのは前職の長さ計の企業で開発業務に従事している時、品質管理の同輩から日本では計量法が有りインチ表示は使用不可と助言を得たのが始まりです。

その後、縁あって昭和63年の秋に（有）中山計量事務所に入社し、平成2年の国家試験に合格、平成3年

に日本計量士会千葉県支部に入会、平成10年に支部役員、現在は計量士部会員です。

弊社で私の業務は代検査、適正計量管理事業所での計量管理、平成15年より指定定期検査機関での定期検査、また弊社取締役として市川市、船橋市の指定定期検査機関の認可、代表取締役として柏市の指定定期検査機関の認可に従事し、同時に次世代を担う若手計量士の発掘・採用をして参りました。昨年の秋には23歳の社員の採用、また今春には28歳の計量士の入社が予定されています。このような事が計量関係方々の評価を戴いた事と思います。

この受賞に際し、ご尽力戴いた関係各所の皆様方に御礼申し上げますとともに、計量士部会員としてまた計量事務所代表取締役として計量関係の方々に少しでもお力に成るよう精進して参ります。今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

関東甲信越計量団体連絡協議会第1回計量大会

における感謝状を拝受して

計量士部会 相談役 鶴見 昭治



昨年10月、埼玉県さいたま市で開催された関東甲信越計量団体連絡協議会第1回計量大会において県計量協会からのご推挙により永年計量界に関わった故をもって感謝状をいただきました。

新しく生まれ変わった最初の同大会において12名の方々とともに感謝状をいただき身に余る光栄にたえません。

私がこれまで計量界において大過なく身を置くことができましたのもこれまでご指導賜りました諸先輩をはじめ皆様のおかげと感謝申し上げます。

振り返りますと計量行政に29年携わってきましたが、その間に新計

量法の改正があり量目関係について計量行政室や東京都、埼玉県さんと検討したことがありました。この時量目公差における片側公差の話があり遅くまで検討したことが思いだされます。

また、この改正に伴いSI単位が導入され企業へのPRとして冊子を作成し配布いたしました。

県検定所においては民間で出来るものは民間への動きから平成7年に計量証明事業者の検査を千葉県計量士会へ依頼しました。この検査は現在計量協会に引き継がれています。

その後平成26年に計量士会長(現計量士部会長)として指名され、現行に合わせるべく規約の改正や、ホームページの立ち上げ等できる限りの努力してまいりました。その後令和2年に鶴岡部会長を迎え現在に至っています。

今後も計量士部会の相談役として部会の発展と会員皆様のご活躍を祈念申し上げお礼の挨拶といたします。



計量正確強調月間（検定所だより）

千葉県計量検定所

経済産業省では、計量制度に対する理解を深めてもらうため、11月を「計量強調月間」、11月1日を「計量記念日」と定めています。

本県においても、11月を「計量正確強調月間」として、適正な計量に対する理解を深めてもらうために、計量展等の行事を、関係機関の協力をいただきながら実施しました。

1 計量展

市町村で行われる消費生活展等に出展し、パネル展示、計量クイズ等により計量の普及啓発を図りました。

- ①四街道市消費生活展 11月12日（土）
11月13日（日）
- ②香取市消費生活展 11月27日（日）



2 ポスター等掲示

- ①一般社団法人千葉県計量協会の協力により、計量検定所前に立て看板「環境と暮らしを守る 正しい計量」を掲出しました。
- ②月間啓発ポスターを、検定所及び各種行事で掲出しました。



令和4年度研修見学会 JAXA 筑波宇宙センター

青木 茂

本年度の研修見学会は10月4日(火)、JAXA 筑波宇宙センターと磯蔵酒造の2箇所で、いつもの千葉駅NTT前から茨城方面へ、晴天の中、遅刻者もなく9:00出発。

参加者は販売・流通部会長、計量協会事務局2名、自重計部会1名、計量証明事業部会1名、計量士部会6名の計11名。

新型コロナが落ち着かない状態ですが十分な感染対策をとり、バスもマイクロバスに変更し、こぢんまりとした研修となりました。

穴川インターから外環へ。渋滞もなく最初の休憩箇所、守屋SAへは時間通り10:00着。最近のSAにある食堂は大手人気チェーンが入り、高いだけで他に食べるものがなくて我慢は過去の話。これなら楽しい高速道路旅ができるでしょう。

計量研修センターでお世話になった計量士の方が多産総研の前を通り、11時前JAXAに予定通り到着。入館セキュリティーのため身分証明書が必要で、保険証を用意していたのですが、写真が無い証明書の場合はクレジットカードなど2種類持たないと入れないことは現地で知りました。今後行か

れる方はご注意を。

見学グループ分け用の色付き手首バンドをはめ、最初はDVDで概要説明。その後は宇宙服や宇宙船が展示されているブースや、窓越しに「きぼう」日本実験棟の運用管制室の見学。世界中に繋っており、24時間監視をする交代制のため在席者は少なかったのですが、一人で8台ものディスプレイを見ている人など、どれほど膨大な仕事量なのかと感じ入りました。

オリジナルグッズの販売コーナーでお土産を購入し、ロケットの前で記念撮影後、昼食会場へ移動。



昼食会場は和食のつくば山水亭で、仁王様なのか、巨大な顔だけの阿吽石像に迎えられる美しい日本庭園が良く手入れされているお店です。座席は全部で400席、駐車場は200台という、大型バスが

連なったツアーも大丈夫な観光客向けでしょうか。

そろそろ飲酒制限も言われなくなり、十分なビールで乾杯と仕出し懐石を堪能し、次の見学先へ。

次の見学先は笠間市にある古い酒蔵の磯蔵酒造。15:30 に着きましたが、手違いで今回工場見学は出来ず、きき酒と直売のみ。

見学は後日 HP を拝見させていただくと言うことで。

お昼にしっかり飲めたので、きき酒・試飲は舌をぬらす程度。やや甘めのお酒だと感じました。

事務棟建屋にはツバメの巣が10以上あったでしょうか。工場のような食品製造箇所は衛生面で大変困りますが、つばめは縁起の良い鳥ですので、お店にとっては看板？

大吟醸の 1.8L を購入された方

も数名。好みの味だったようです。

帰りも大きな渋滞もなく、行きと同じく守屋 SA で休憩。

高速の向かいには下りの守屋 SA があり、建物のデザインはほぼ同じ。

中にある飲食店は高速往復で違う味を楽しめる、下りとは別の大手人気チェーン店が入っていました。併設された道の駅の値段は結構高め。

朝は気がつかなかったのですが、ドッグランもありました。随分気配りが進んだものです。

その後千葉へ順調に。計量協会瀬口新会長により締め挨拶で終了。新型コロナの影響で、外で飲まなくなったのか静かに皆さん帰宅の途につかれました。



趣味の窓

「スペイン巡礼 part2」 アラゴン・ルート編

石井敏博

2回目の「スペイン巡礼」を2022年6月から8月に行ったので、前号に続いて part2 をお届けします。

目的地はスペインのサンチアゴ・デ・コンポステラと同じですが、今回はポルトガルのリスボンを出発しておよそ700kmの旅程を予定していました。

ところがコロナの影響でポルトガルの入国が難しく、「北の道」と呼ばれるスペイン北部の大西洋岸を歩く計画に変更しました。

しかし出発直前にポルトガル政府が外国人の入国を解禁したので、スペイン「アラゴン・ルート」を歩き、その後リスボンに移動して「ポルトガルの道」歩くことを決めました。(地図1)

「スペイン アラゴン・ルート」

この道はスペイン北東部のアラゴン州を出発し、前回歩いた「フランス人の道」に合流する約170kmの旅です。(地図1)

6月25日(ソンプルト)

巡礼宿のオスピタレラ(女性管理人)が迎えてくれました。(写真1) アラゴン州のフランスとの国境から

巡礼を開始しました。

6月26日(ソンプルト⇒ハカ)

初日は32kmを歩き、全身筋肉痛でベッドから降りるのも一苦勞。11世紀までアラゴン王国の首都で五角形のハカ城塞があります。(写真2)

6月29日

(ルエスタ⇒ザビエル⇒サングエサ)

途中にザビエルという地名のところに寄りました。16世紀日本に初めてキリスト教を伝えた宣教師ザビエルの生家(ザビエル城)があります。

(写真3) ほとんど観光客はいません。城の中は博物館になっていました。そこからさらに15km歩いてサングエサに到着。

7月2日(プエンテ・ラ・レイナ)

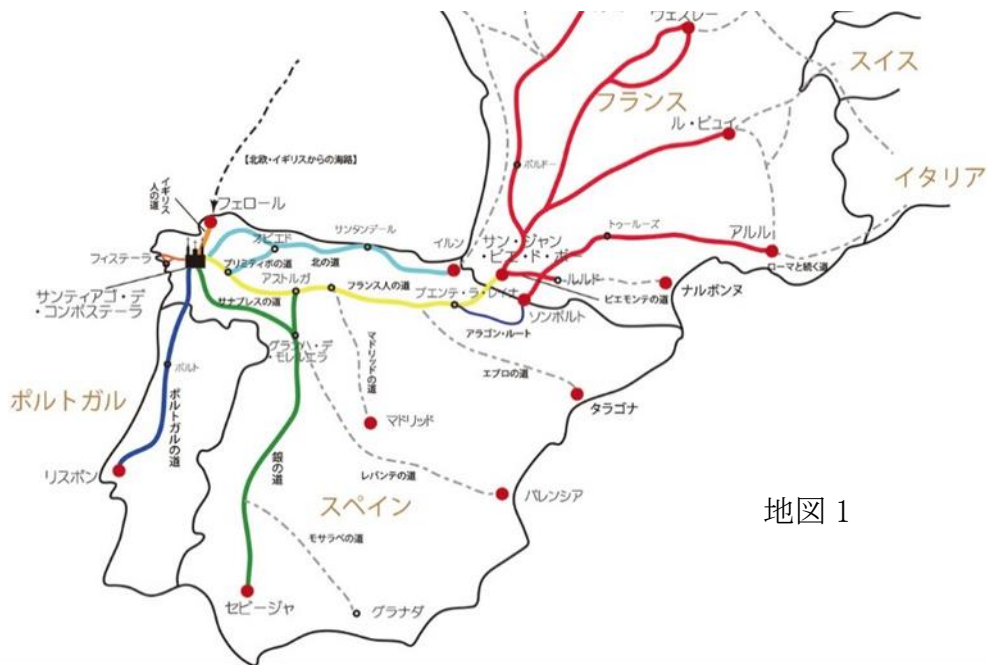
アラゴン・ルートの終着地に到着。2018年歩いた「フランス人の道」にここで合流します。(写真4)

4年前と同じ巡礼宿に宿泊しましたが同じオスピタレロ(男性管理人)が迎えてくれました。

8日間の旅でしたが、コロナ渦で多くの巡礼宿が閉鎖されており、またスペインに来ていた熱波の影響で巡礼者はほとんどいませんでした。

距離はさほどなかったのですが、山の中なので高低差があり、連日 40 度を超える日が続き非常に辛い巡

礼でした。「スペイン巡礼 part3」ポルトガルの道編に続く)



地図 1



写真 1



写真 2



写真 3



写真 4

年間予定

令和5年度年間予定（計量関連行事も含む）

4月

計量士部会第1回理事会	4月13日（木）15:00～
会報第27号第1回編集委員会	4月13日（木）13:00～
全体会議	4月28日（金）15:00～

6月

計量協会定時総会予定	6月23日（金）13:00～
------------	----------------

8月

計量士部会第2回理事会	日時未定
会報第27号第2回編集委員会	日時未定
計量証明事業検査に協力	

9月

会報第27号発行予定	9月1日（金）
------------	---------

10月

計量士部会第3回理事会	日時未定
会報第28号第1回編集委員会	日時未定
関東甲信越地区計量団体連絡協議会第2回計量大会	10月27日～28日 長野県開催

11月

計量記念日全国大会	
計量正確強調月間	
研修見学会	日時未定
適正計量技術者講習会	日時未定

2月

計量士部会三役会	日時未定
会報第28号第2回編集委員会	日時未定

3月

会報第28号発行	3月1日（水）
----------	---------

表紙の写真について

表紙の写真はハッ場ダムになります。

群馬県吾妻郡長野原町に重力式コンクリートダムとして建設され、高さは116m、総貯水容量107,500,000 m³（有効貯水量は90,000,000 m³）となります。計画から完成までいろいろあり運用開始まで68年を要したようで、2020年4月1日より神奈川県を除く関東1都5県の水がめ・利根川上流ダム群の一つとして運用されています。

令和元年の東日本台風の際にはニュースなどで見た記憶が残っている方もいらっしゃるかと思いますが、実験貯水段階でほとんど空だった状態のダムから、満水近くまで貯水されたハッ場ダムの状態が放映されていました。

ハッ場ダムに限らずどのダム湖を見てもそうですが、壮大で感動してしまいます。皆様も群馬県を訪れた際には、一度足を運んでみては如何でしょうか。



（上原 健一 記）

編集後記

新型コロナウイルスの感染状況の終息がみえない状況が続いていますが、世界的に脱コロナウイルスに向けて、一步一步進んでいるところかと思われま

私自身も新型コロナ発生以前より注意を払いながらではありますが、旅行やゴルフ、魚釣りなどを楽しめる状況が戻って来ているのかなとも思います。

生活環境も変わってしまい、学校生活や会社生活、趣味などもそうですが、社会的にいろいろな大きな変化が続いており皆様も手探り状態で生活をしている部分があったかと思いますが、これから多くの部分が元に戻って来るかと思

新型コロナウイルス発生前の生活に戻る事は、まだ少し先の話になってしまうのかも知れませんが、ひとりひとりが前を向いて明るい生活を取り戻すために、少し気持ちを切り替えて生活をしてみては如何でしょうか。

（上原 健一 記）

—————会報 第26号—————

発行日：令和5年3月1日

発行者：(一社)千葉県計量協会計量士部会 会報編集委員会

所在地：〒263-0015 千葉市稲毛区作草部 1-18-3

千葉県計量検定所内

編集委員：委員長 三浦 修

委員 青木 茂、石井 敏博、上原 健一、

高田 英紀、鶴見 昭治、廣田 怜

部会長 鶴岡 賢一

イラスト：高橋 真以子

印刷所：株式会社 裕星グループ

住所 〒266-0026 千葉市緑区古市場町 474-264

TEL 043-265-3792 FAX 043-266-6287

Mail: honbu@ys-group.jp



ETO scale works

恵藤計器株式会社

住所 〒261-0002 千葉県美浜区新港142-3
TEL 043(242)0505 (代表)
FAX 043(243)2519
E-mail etokeiki@saturn.plala.or.jp